

平成20年

9月定例会号

ページ

- 議案審議の概要及び各常任委員長報告・討論 2
- 平成19年度決算審査の概要 3
- 市政に対する一般質問 4～7
- 請願審議結果・討論 7
- 意見書・人事・審議結果 8

しおがま市議会だより

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel022(364)1214 Nov.2008 (平成20年11月)
 ホームページアドレス <http://www.city.shiogama.miyagi.jp/html/about/gikai/index.html>



ミニミニ遊びの広場 (しおがま子育て支援センター)

定例会のあらまし

平成二十年第三回定例会は、九月九日から二十九日までの二十一日間の会期で開催されました。

初日の本会議では、市長より提出議案の説明を受け、総括質疑後、平成十九年度決算については決算特別委員会に、その他の議案については、請願、議員提出議案とともに所管の常任委員会に付託されました。また、意見書一件と人事案件二件が即日可決されました。

各常任委員会は三日間開催され、付託された議案と請願の審査を行いました。決算特別委員会は四日間開催され、決算の審査を行いました。

本会議二日目と三日目は、八名の議員が市政に対する一般質問を行い、市当局の見解をいただきました。

定例会最終日には、各常任委員長及び決算特別委員長から審査結果の報告を受け、議案十三件を可決、決算二件を認定しました。請願については、閉会中の継続審査一件を含む三件のうち一件を採択、二件を不採択としました。議員提出議案は、意見書一件を可決、下水道条例の一部を改正する条例は否決し閉会しました。
 (議案の件名と審議結果は八ページ)

定例会会議日程

- (本会議)
 9月9日 会期の決定、諸般の報告、請願付託、議案説明、総括質疑、議案付託、人事案件採決
- (委員会)
 9月11日 民生常任委員会
 9月12日 総務教育常任委員会
 9月16日 産業建設常任委員会
 9月17日 平成19年度決算特別委員会
 9月18日 平成19年度決算特別委員会
 9月19日 平成19年度決算特別委員会
 9月22日 平成19年度決算特別委員会
- (本会議)
 9月24日 市政に対する一般質問
 9月25日 市政に対する一般質問
 9月29日 各常任委員長報告、平成19年度決算特別委員会委員長報告、議案審議及び採決、請願審議及び採決、議員提出議案審議及び採決

平成二十九年九月定例会 補正予算一億九、九八六万円を可決

九月定例会の一般・特別会計補正予算額は、一億九、九八六万円となりました。一般会計の補正では、「路線バス空白地区における旅客自動車試験運行事業費」「魚市場事業特別会計において実施する燃油高騰に伴う外来漁船への支援費に対する繰出金」「小中学校耐震診断調査委託事業費」等を主な内容とした一億五、八六五万円が追加されました。また特別会計では国民健康保険

事業、魚市場事業、漁業集落排水事業、介護保険事業の各特別会計で計四、一二一万円が追加されました。その他「塩竈市手数料条例の一部を改正する条例」「塩竈市建築基準条例の一部を改正する条例」など条例改正六件と、ひまわり園の指定管理者を指定する「塩竈市障害児通園事業施設の指定管理者の指定」など二件の議案が可決されました。

常任 委員長 報告

九月定例会において、議案十四件と請願三件が委員会に付託され慎重に審査が行われました。委員長報告の要旨は次のとおりです。



総務教育

総務教育常任委員会

委員長 佐藤 英治

◎議案第61号、第62号、第63号、第66号、第67号、第73号については、可決すべきものと決しました。
〔塩竈市一般会計補正予算に対する要望意見〕
路線バス空白地区における試験運行については、停留所の設置場所等、安全対策の構築を徹底され、安心で安定的なバス事業を展開することにより、市民からさらに喜ばれる交通体系の整備を進められるよう鋭意努力されたい。



民生

民生常任委員会

委員長 浅野 敏江

◎議案第64号、第67号、第68号、第71号、第72号については、可決すべきものと決しました。
〔塩竈市障害児通園事業施設の指定管理者の指定に対する要望意見〕
ひまわり園の運営にあたっては、施設の公平な利用が確保できるような管理監督に適正を期されたい。また、子供たちが確実に成長できるように、学校との連携についても万全を期されたい。



産業建設

産業建設常任委員会

委員長 香取 嗣雄

◎議案第65号、第67号、第69号、第70号については、可決すべきものと決しました。
〔塩竈市魚市場事業特別会計補正予算に対する要望意見〕
将来にわたる水産物の安定供給及び食の安心・安全の確保という観点から、官民連携により魚市場の運営並びに水揚げ増につながる総合対策を講じられるとともに、引き続き収支改善に尽力され、魚市場地区の活性化

討

論

に向けて一層努力されたい。
◎議員提出議案第5号「塩竈市下水道条例の一部を改正する条例」については、否決すべきものと決しました。

九月二十九日の本会議において、議案第62号と議員提出議案第5号について討論が行われました。その概要は次のとおりです。

議案第62号 塩竈市市税条例の一部を改正する条例

反対討論の概要

この議案は、個人の住民税を公的年金から天引きする特別徴収制度の導入である。年金からは、既に所得税・介護保険料に加えて、この四月からは国民健康保険税と後期高齢者保険料が天引きされており、このような本人の意向を踏まえない国のやり方に対し、地方自治体は住民の立場に立った取り組みが求められる。よって改正に反対する。

賛成討論の概要

年金の特別徴収制度は、高齢者である公的年金受給者の納税の便宜を図るとともに、市町村における徴収の効率化を図るものである。仮にこれを行わな

れば市民の便宜も図れず、賦課徴収コストも増える。今回の改正は地方税法改正に伴うものであり、これに反対することは税制そのものを否定することになるので議案第62号に賛成する。

議員提出議案第5号 塩竈市下水道条例の一部を改正する条例

反対討論の概要

昨年十二月定例会に提案された下水道料金値上げ案については、議会において慎重審議のうえ、三月の本会議で修正可決したものであり、その成果もでないうちに元に戻すというのは議会の存在価値が問われる。今は逼迫した財政を立て直すことが最重要課題であるので反対する。

賛成討論の概要

資源や食料の高騰に起因する物価高に対する緊急生活者支援策として下水道使用料を値上げ前に戻そうというものであり、その財源としては交付税措置額と繰入金との差額一億三百万円程度が見込めるので賛成するものである。

決算特別委員会で決算を認定

委員長に鎌田礼二委員、副委員長に阿部かほる委員を選出し慎重な審査を行いました。

(詳細は次ページ)

決算特別委員会委員長報告

各会計決算の審査に当たって

は、決算書等の説明を聴取し、新たに各種資料の提出を求め、慎重に審査を行い、一般・特別会計については賛成多数、企業会計については全員一致によりそれぞれ認定すべきものと決しました。当該決算に対する主な要望・意見は次のとおりです。

▼一般会計

◎一般会計の財政状況は若干改善しつつあるものの、歳入の確保はなお厳しい状況にあり、歳出削減については、職員給与の独自削減等に支えられたものであり、市の財政状況はまだ予断を許さない。地方財政健全化法に基づき健全化判断比率等の数値も踏まえ、今後とも歳出の削減に努めるとともに、歳入確保のため人口増加対策に取り組むなど、

一層の収支改善に努められたい。

◎防犯対策事業については、駅周辺における乗り物盗の増加や、ベンチにおける飲酒・寝そべりなどが散見されることから、関係機関等と連携を図り、予防警戒活動の実施や、犯罪が発生しにくい環境づくりの活動などになお一層取り組まれたい。

◎塩竈市災害特別融資事業については、平成十九年度については融資実績がなく、過年度に係る未償還残金分の原資となるにとどまっている。木造住宅耐震診断等助成事業を補完する意味からも、当該事業を広く周知し、市民の安心安全な暮らしに資するよう努められたい。

◎通学路については、幅員が狭い道路や危険を伴う交差点等も多々存在する状況となっており、登下校中での事故発生等が懸念されることから、関係機関との協議を十分にされ、良好な歩道環境整備に努められたい。

◎公民館については、同施設の利用者は年々高齢化が進んでいるので、施設内を可能な限りバリアフリー化するなど、高齢者がより利用しやすい環境づくりを努められたい。

▼特別会計

◎魚市場事業特別会計については、引き続き関係機関との連携を図りながら、魚市場事業の総合的な見直しを検討され、単年度収支均衡を図るべく魚市場健全化対策に積極的に取り組む、魚市場地区の活性化に向けて一層努力されたい。

◎下水道事業特別会計については、水洗化普及率が平成十八年度に比較して横ばいとなっており、金銭的な理由や、借地借家関係等の事情で水洗化できない事例が見受けられる。今後は、水洗便所改造資金融資斡旋制度の融資枠の見直しや、他の軽減策の検討を加えられるなど、水洗化普及の促進に努められたい。

▼企業会計

◎市立病院事業会計については、再生緊急プランに基づき経営健全化に取り組んできたが、目標である単年度収支均衡を達成することはできなかった。現在、市立病院のあり方審議会の中で、市立病院が地域で果たすべき役割等につき検討が進んでいるが、その中間答申の内容について、適切な時期に議会に対し報告されたい。また、医師の確保と勤務意欲向上に資する施策を講じるなど、病院内部の経営健全化努力も引き続き行われたい。

討

論

認定第一号 平成十九年度塩竈市一般会計及び各特別会計決算の認定について、討論が行われました。

反対討論の概要

一般会計については、黒字決算がなされたが、不用額を出してつくられた決算である。行政は市民の生活実態を把握し石油高騰で苦しむ市民や学校の環境整備などに不用額を活用し予算を適正に執行すべきである。

次に国保事業特別会計については、国保税の大幅な引き上げにより、市民生活は大きな影響を受けており、保険税を滞納し資格証明書の発行や保険証なし世帯が多数になっている。市民が安心して医療を受けられるよう国保会計の健全化が求められる。

第三に介護保険事業特別会計については、高すぎる保険料や国の制度見直しによりサービス給付費が大幅に減らされ、自己負担や家族の負担が増加している。国の予算を拡充し安心して取り組みが強く求められる。

最後に土地区画整理事業特別

会計決算については、大型店の出店に合わせた周辺整備にかかわる決算としか言わざるを得ない。よって、認定第一号に反対する。

賛成討論の概要

まず、一般会計は、黒字決算がなされ、特に市民生活に不利はない。

次に国保事業特別会計については、実質収支が黒字決算となり市民の健康と命を守る上でも安定した国保運営がなされていると認識している。

第三に、介護保険事業特別会計についても黒字決算がなされており、高齢者介護福祉が充実し多くの市民に理解を得ている。ひとり暮らし老人や老老介護への対応についても住民本位の運営がなされている。支援費制度の対応も低所得者への減免対策等についても職員一丸となり努力している。

最後に土地区画整理事業特別会計決算については、歳入歳出が同額で決算され、均衡が図られており、区画整理事業がスムーズに実施されている。海辺の賑わい地区には大型店やマンションが建設され、共同化事業が進みつつあり、町の活性化が大きく図られている。市政発展の礎となる当該事業へ賛同し、認定第一号に賛成するものである。



決算特別委員長報告

一般質問

本会議における各議員の一般質問の中から二つ取り上げて、その要旨を掲載しています。



日本共産党塩竈市議員
曾我ミヨ

水産加工業への支援策は

議員 水産加工業者は、燃油高騰、すり身の原料高で厳しい状況に立たされている。しかし、燃油高騰対策は水産加工業では使えないのが現状である。国に直接補てんになるような支援策を求めると同時に、市の基幹産業が倒産・廃業にならないよう市独自の支援対策をとることが求められている。特に、業界は「フード見本市」と「水産開放実験室」への支援を求めており、推進すべきと考えるが市長の見解を伺いたい。

市長 水産加工業への当面の対策としては、生産体制の安定と販路の拡大が必要である。そのために補助制度の活用、原材料



フード見本市

の確保、新商品の開発、見本市の開催等の様々な取り組みが必要である。国、県関係機関には今後も議長と共に実情を訴えていく。市独自の支援策として水産加工品販路の拡大、新商品開発等を各企業と取り組みを始めた。開放実験室には運営委員会を中心に自立した運営ができる支援策を講じていきたい。

子育て支援策は

議員 『子育て支援』として妊産婦検診や、こども（乳幼児）医療費助成事業が重要になっている。国は普通交付税に妊産婦検診五回分を公費負担基準で算定しているのでも早急に五回にすべきである。こども医療費助成で外来について、就学前までに拡大を図り子育て支援策を講じる

市政に対する一般質問

べきである。

また、国保の資格証発行により保険証のないこどもが出てきたが、何名いるのか。こどものいる世帯に保険証を手渡すべきである。見解を伺いたい。

市長 妊産婦検診は本年度助成回数を二回から三回に拡大した。大変厳しい財政状況だが、助成回数の拡大が来年度の課題であると認識している。こども医療費助成は医療制度改正により自己負担割合が二割に軽減されたが、単独市町村での負担は大変厳しく、国・県に対しては制度の拡充と助成を要望し続けている。国保の資格証明書は法令に基づき納税相談にも応じない世帯に限り限定的に行っているの理解いただきたい。



日本共産党塩竈市議員
吉川弘

市営住宅事業は

議員 ①国は来年度から入居収入基準を政令月収二十万円から十五万八千円に下げるが、家賃はどう変わり、収入超過者はどれほど生まれるのか。②市の住宅ストック総合活用計画である第八期計画の玉川住宅及び第九期の新浜町住宅の建て替えと貞

山通住宅の全面改善はなぜ進まないのか。③市営住宅の家賃減免は所得でなく収入で行っており、県営では減免が認められ、市営では認められないケースをどう考えるのか。

市長 ①家賃は、現在より下がる世帯十五％、変わらない世帯六十％、上がる世帯二十五％で上がる世帯の平均上昇額は単年度で約四百円と試算している。高額所得者層の規定は、激変緩和のため五年後から適用となり、その時点での判断となる。②学校の耐震診断が新たに入り、計画どおり進んでいないことに大変申し訳なく思っている。③市は市営住宅施行規則、県は県営住宅施行規則に基づいて取り組んでおり、その違いということ理解いただきたい。

市立病院事業は

議員 ①自治体病院の運営に国の医療政策の影響があると考えられるが見解は。②塩釜地域は県内で唯一休日・平日夜間の一次救急医療体制が確立しておらず、救急搬送も時間が長くなっている。市の責任で、公的な一次救急医療体制については休日急患センターを拠点にし、二次救急医療体制は管内六救急告示病院の輪番制で確立すべき。さらに民間病院との医療連携は。③今年度国に提出する「公立病院改革プラン」の議会への報告と市民への周知徹底は。

市長 ①国が医療費抑制策として行っている診療報酬の引き下げは経営健全化を目指す取り組みに大きな影響を与えているが、努力し乗り越えていきたい。②民間病院をはじめ地域全体として完結する医療が求められており、審議会の中で各分野分析し今後のあり方を打ち出していきたい。③審議会の最終答申を議会に報告すると共に、町内会との話し合いの場をもって市民に内容の周知を図っていきたい。



市営玉川住宅





日本共産党塩釜市議団
伊勢由典

漁船燃油高騰に対する補てんは

議員 漁船燃油高騰に対し国の直接補てんを求め漁業者二十万人が七月半ば一斉休業した。党市議団は七月市に「燃油高騰に対する緊急要望書」を申し入れ、八月初めには県に燃油高騰への直接補てんの要望書を提出した。八月下旬塩竈市魚市場関係者から燃油の直接補てんの要望が出された。漁船の燃油高騰に対する国と市の対応と、漁船燃油高騰に対する県の水揚奨励金による燃油代間接補助の内容と県の市への対応について伺いたい。

市長 漁船燃油高騰に対し、市では水産業者の方々と知事へ要望書を提出した。また知事や全国水産都市三団体連絡協議会等と共に要望活動を行い国に強力に働きかけてきた。市独自の対策として市在住の船舶及び漁業用陸上施設を対象に一リットル一円を補助し、外来漁船には魚市場使用料の千分の二相当額を補助する。県では県内の産地魚市場に水揚げする漁船に対し水揚げ奨励金を支給する議案を県議会に提出予定である。



燃油高騰に対する県への要望活動

原材料値上げに苦しむ商店に市の対応は

議員 ①日本共産党市議団は七月市内中心部商店とマリナーズ塩釜のテナントを対象に「燃油高騰と諸物価値上がりに対する緊急アンケート」を行い、「営業が苦しくなっている」八十一件等、九十八店舗から回答があった。とっとちゃんスタンプの発行をやめた商店もある。市として各商店に調査はしているのか。その対応は。②壺番館内に入居する塩釜市商業協同組合の運営が厳しくなっており家賃について市の軽減策はあるのか。

産業部長 ①平成十六年から十七年にお買い物アンケートを行っており、その結果を反映させ現在商人塾や空き店舗対策業を実施している。今後とも商店の方々と協働し努力を積み重ねていき



ニュー市民クラブ
菊地進

モンスターパーARENTへの対応は

議員 理不尽なモンスターパーARENT、利己主義的で自分勝手な親により多くの児童生徒、教員、学校、教育委員会、行政、市民が迷惑している。理にかなった問題提起ならばこれを尊重して対処すべきだが、理不尽な提言の場合は、学校、教育委員会、行政、地域が連携して断固はねつけるべき。そうすることによって良好な教育環境のもと、児童生徒の成長を見守っていかねばと考えるが、教育委員会はどのように対応しているか。

教育長 いわゆるモンスターパーARENTについては、直接教員にクレームを行う他、校長や教育委員会にクレームを持ち込んで、間接的に現場に圧力をかけ

たい。②壺番館内にあるボックスショップはオープン当初一日百五十人を超える来客があったが、現在空きが目立っており、問題点や新たな取り組みについて商業協同組合と一体となって追及し、問題を調査しながら支援について検討してまいりたい。



塩竈市教育委員会

ミッション・チャレンジに具体的目標を

るといふケースが増えている。学校としては校長が教頭、担任とともに保護者に説明し、対応を重ね、信頼関係を築く努力をしている。学校で対応しきれない場合は教育委員会と連絡し、問題を共有して対応することもあり、教育委員会の中に、そのための組織もつくっている。

議員 ホームページに各部長の顔写真入りで政策目標、取り組み方針、重点目標を挙げているが、市民向けになっていないのではないか。単に長期総合計画に沿って作るのではなく、例えば五万八千人まで落ちた人口をせめて六万人にするとか、税収六十三億円を七十億円にしたい



ニュー市民クラブ
木村吉雄

塩釜港の整備計画は

議員 仙台塩釜港長期構想委員会は、仙台港と塩釜港の今後十五年間の整備内容やスケジュールを盛り込んだ港湾計画の素案を決定した。地元自治体の政策として塩釜港のインフラストラクチャー、老朽化している県営上屋市営上屋のリニューアルの件、懸案となっている水深マイ

とか、魚市場の水揚げを百五十億円にするとか、そういった身近なものについて具体的な数字を挙げてほしい。その七割しか達成できなかったとしてもいいので、そういう意気込みを各部長が示すべきではないか。

市長 ミッション・チャレンジの狙いは、政策課題に対する認識を庁内で統一し、事業の目的や、そのために投入する人材、財源などを明らかにすることで職員の認識を共有し、効果的なマネジメントを行うことにある。すべての項目や指標をホームページに掲載することは困難であり、代表的なものを掲載しているが、内容は公表しているのでぜひ一読願いたい。

市政に対する一般質問



特定重要港湾仙台塩釜港塩釜港区

切り札、御礼に生マグロ、塩竈市」とあった。本市においてもふるさと納税をスタートさせたが、いまだ市民や塩竈市をふるさととする方々はよく理解されていないのではないかと。当該制度の概要と取り組み状況等を伺いたい。

ナス九メートルの航路確保の件、石油基地撤退跡地の今後の利用計画の件などあわせ、今回の宮城県港湾整備の計画素案について、市長の見解を伺いたい。

市長 本市には、旧来より海運海貨業の蓄積や保安等機能の充実強化が保持されている。これ等の機能を最大限に活用しながら、ハード・ソフト両面で調和のとれた取り組みを進めることが、今塩釜港に求められている。また県内主要港湾のうち港と都市が一体として機能するのは塩釜港であると思っている。市民の方々にもご支援ご愛顧いただけるような港にしていきたい。整備は県事業であるが県と一体となり取り組んでまいりたい。

ふるさと納税は

議員 過日、新聞に大きな見出しで「ふるさと納税寄附獲得の

市政に対する一般質問



都市計画道路 八幡築港線

どの被害を受け続けている。都市計画道路八幡築港線の道路整備と防潮堤整備の進捗状況は。また、県に対し早期完成を強く働きかけられたい。

「日本が一番住みたいまち」にするために呼びかけを始めた。協力いただいた方にはマグロや地酒等をお贈りし、ふるさとが元氣であることを実感していただきたい。現在十七件、約二百万円の申込みがある。新聞やテレビでも紹介されたが評価に甘んじることなく、なお一層取り組んでまいりたい。



二ユー市民クラブ
香取嗣雄

水害対策は

議員 芦畔町及び牛生町地区では大雨や高潮により床上浸水な

に地域の方々の安全が確保される努力と、市としても牛生雨水ポンプ場による排水施設の整備促進に努めたい。

観光振興は

議員 十月から大型観光キャンペーンが始まり、訪れる観光客が本市の環境面での素晴らしさについても感じていただくことができるような対策が必要であると考えるが市当局の考えは。

また、塩竈神社坂向かいの公園から本町に抜ける西町の裏通りにおいて、観光客の誘致を目的とした整備を考えられないか。

市長 本市では北浜沢乙線に代わられるような、歴史文化の魅力にあふれる道路整備や緑地整備等を行っている。良好な景観整備のため、新たな建築等についても一定の制限を設け、景観の保持に努めている。また、十月からはいよいよ仙台・宮城デスティネーションキャンペーンがスタートする。さまざまな企画に対し、関係の皆様方から積極的にご参加いただいていることに心から感謝申し上げます。素晴らしい歴史文化の資産が市内に数多く点在しているので、県内外から訪れる多くの皆様方には是非ごらんいただき、市内での回遊性を高めて欲しい。



再生クラブ
佐藤貞夫

行財政改革は

議員 第四次長期総合計画の期間が終了する平成二十二年度末に向け、市長はどの程度の職員定数あるいは一般会計の予算・事業規模を考えているのか。

市長 職員定数については、平成十七年四月現在七百九十一名だったものを、五年後の二十二年四月までに百三十名削減し六百六十一名とする数値目標を設定した。目標を実現する手立てとして、事務の統廃合、組織見直しによる事務の効率化、民間活力の導入、再雇用職員の活用等に取り組み、二十年四月現在六百九十五名となった。今後は次期長期総合計画と十分整合を図りながら、職員定数の適正化に努めたい。一般会計の規模については、地域経済の停滞や人口減少により税収が伸び悩み、また三位一体改革による地方交付税の減少が予想され、財源の確保が大変厳しい状況にある。歳出面において、これまでの選択と集中による事業の厳選を基調としつつ、行政需要から見た財政需要額を積み上げたい。

水揚げの恒久対策は

議員 本市魚市場の水揚げ高は県内の他主要魚市場に比較し伸び悩んでいる。施政方針では魚市場の水揚げ増大策に一層取り組みとあるが、効果は上がっていない。漁獲高や取り扱い魚種の増加等への対策も遅れているのではと大変危惧している。漁船誘致も含め、水揚げ増加策の取り組みについて伺う。

市長 本市魚市場の水揚げはマダロに特化しており、不漁時には極端に市場全体の水揚げ高が減少するという構造的な問題を抱えている。このため、安定した水揚げを確保するため、他の魚種にも取り組むということで、例えばカツオの一本釣りの水揚げを奨励し、市場の使用料を減額する等の措置を行ってき



塩竈市魚市場

たが、いまだ期待された効果が発揮されていない。しかし、水産加工業界において本市魚市場に水揚げされる前浜ものを加工原魚に活用する動きも出ており、このような動きと相まって、水揚げ増に向け今後もさらなる取り組みを深めていきたい。



公明党 浅野敏江

緑のカーテンを

議員 この夏各地の公共施設でヒートアイランド対策として、みどりのカーテンが市民に好評であるとマスコミに取り上げられていた。みどりのカーテンは、ツル科の植物を施設の窓際に生やすことにより、日光を遮り、室内の温度を下げる効果がある。また、冷房の使用も控え、二酸化炭素の削減にもつながる。さらに、室内温室効果ガスを吸収するため、地球温暖化対策には有効とされている。財政的にも景観的にもみどりのカーテンを検討いただきたい。

市長 比較的緑が多い地方都市では、ヒートアイランド現象を実感することはまだ少ないが、率先して取り組むことも大切であると考えている。全国的には、



伊保石公園

家庭でできる地球温暖化対策として大変注目を集めている。本市では、まだ組織だった取り組みまでは至っていないが、環境基本計画の中でも一定程度の必要性をうたっている。今後そのような課題について、取り組みを深めさせていただきたい。

財政健全化法の実施に向けての方向性は

議員 財政健全化法の実施に向けての本市の方向性、取り組みについて伺いたい。①本市の財政の状況について②ミニ公募債の発行状況について③地方債が民間資金で起債できるようなになると破綻のリスクも懸念されるがその心配はないのか④二十一年度決算に向けて改善すべき点は何か。

市長 ①④連結実質赤字比率等

の四指標については指数を下回った。資金不足比率については、魚市場、病院会計等でその数値を超えている。昨年度は連結実質赤字の縮減を図り、公共駐車場は赤字を解消した。市立病院については、累積債務が多額なので、事業の経営健全化が本市財政健全化の最大の課題である。現在、あり方審議会で議論いただいております。結論を踏まえ不良債務の解消と安定経営に向けた取り組みを早急に構築していく。

総務部長 ②③昨年度は市民の皆様から一億七、三〇〇万円の申し込みがあった。今後も財務体質の改善を進めながらより有利な民間資金の調達に努めたい。

請願



請願 今定例会で審議された請願は三件で、審議結果及び討論の概要は次のとおりです。

▼保険でよい歯科医療の実現を求める意見書提出方請願 (採択。討論なし)

▼後期高齢者が安心できる医療保険制度にするための請願 (不採択)

▼反対討論の概要
この制度は国民皆保険を堅持し、将来にわたって医療制度を持続可能とするためのもの。改善すべきところは改善しながら、制度の定着と安定的な運営を目指すべきもので、請願の趣旨はこの制度の根幹を否定している。

▼賛成討論の概要
自己負担増の歯止めがなく、健診は非義務化されるなど、安心して医療を受けられない。全国の医師会も廃止を求めている。問題ある制度の見直しを地方が求めることは当然であり、継続審査でなく直ちに採択すべき。

▼義務教育費国庫負担制度の維持と教育予算の拡充を求める意見書の提出に関する請願 (不採択)

▼反対討論の概要
負担率の引き下げは、税源・権限の移譲に伴うものであり、国に負担割合の還元を求めるのではなく、財源を含めて地方分権をより推進すべきもの。

▼賛成討論の概要
義務教育費国庫負担制度は、義務教育の根幹である機会均等、水準確保、無償制を国が責任を持って支える制度であり、国の負担割合を早から縮小したままでは、厳しい自治体財政の中で教育水準の維持は困難。

市政に対する一般質問

9月定例会審議結果

議案番号	件名	結果
認定第1号	平成19年度塩竈市一般会計及び各特別会計決算の認定について	認定
認定第2号	平成19年度塩竈市立病院事業会計及び塩竈市水道事業会計決算の認定について	認定
議案第61号	公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第62号	塩竈市市税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第63号	塩竈市都市計画税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第64号	塩竈市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第65号	塩竈市建築基準条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第66号	株式会社日本政策金融公庫法等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決
議案第67号	平成20年度塩竈市一般会計補正予算	原案可決
議案第68号	平成20年度塩竈市国民健康保険事業特別会計補正予算	原案可決
議案第69号	平成20年度塩竈市魚市場事業特別会計補正予算	原案可決
議案第70号	平成20年度塩竈市漁業集落排水事業特別会計補正予算	原案可決
議案第71号	平成20年度塩竈市介護保険事業特別会計補正予算	原案可決
議案第72号	塩竈市障害児通園事業施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第73号	塩竈市土地開発公社定款の変更について	原案可決
議案第74号	教育委員会の委員の任命について	同意
議案第75号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意
議員提出議案第4号	燃油価格の高騰に対する緊急支援措置を求める意見書	原案可決
議員提出議案第5号	塩竈市下水道条例の一部を改正する条例	否決
議員提出議案第6号	保険でよい歯科医療の実現を求める意見書	原案可決

8月臨時会審議結果

議案番号	件名	結果
議案第59号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決
議案第60号	平成20年度塩竈市一般会計補正予算	原案可決
議員提出議案第3号	塩竈市議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決

意見書

今定例会で可決された意見書の概要は次のとおりです。

▼燃油価格の高騰に対する緊急支援措置を求める意見書

我々水産業を基幹産業とする水産都市は、水産物の安定供給に大きな役割を果たしてきた。

しかしながら、昨今の急激な燃料価格の上昇は、石油への依存度が高い産業である漁業等において燃料上昇分を価格に転嫁できず急激に収益が悪化し、経営存続の危機に直面している。さらに漁業のみならず水産加工

業、流通業など多くの関連業種にまで及び、地域経済全体に深刻な影響を与えている。

このような、我が国の漁業の存続すら危惧される事態は、水産物の安定供給に支障をきたし、我が国の食料自給率の低下に拍車をかけるなど国民生活にも大きな不安をもたらすものである。よって、国におかれては、水産業の極めて危機的な現状を賢察いただき、水産業を守り国民に対する食料の安定供給を堅持するとう立場から、喫緊する次の事項について緊急支援措置を講じられるよう要請する。

- 一 水産業の安定的経営を持続し水産物の安定供給を維持するため、漁業用燃油価格高騰に対する緊急支援措置を講ずること。
- 二 漁業用燃油の安定的確保を図ること。
- 三 加工用輸入水産物にかかる関税の軽減措置を講ずること。
- 四 水産食品製造業へのセーフティネット保証適用の継続・拡大措置を講ずること。
- 五 軽油引取税の暫定税率分について減免措置を講ずること。
- 六 高速道路料金の深夜割引時間帯の拡大措置を講ずること。
- 七 原油取引市場の安定化に向

けた国際的協調策を講ずること。八 ガソリン税の課税免除の導入を講ずること。

▼保険でよい歯科医療の実現を求める意見書(抄)

歯や口腔を健康な状態に保ち、咀嚼や口腔機能を維持・回復することは全身の健康の増進や療養・介護の生活の質を向上させ、国民医療費節減にも役立っていることが「8020運動」によって実証されている。また多くの国民は、歯科医療について保険のきく範囲の拡大と自己負担の軽減を強く望んでいる。しかし現実の歯科医療では、

人事

今定例会において、次の方々が同意されました。

○塩竈市教育委員会の委員

- 菅原周一
氏家瑞恵
丹野六右衛門
阿部勘九郎
内海勇一

○塩竈市固定資産評価審査委員会の委員

- 丹野六右衛門
阿部勘九郎
内海勇一

編集後記

秋も深まり、紅葉の色鮮やかな季節となりました。市議会だより第一七三号をお届けいたします。

(議会報編集委員会)

委員長 菊地 進